

## 重点事業評価の実施について

### 1 重点事業評価の実施について

従来の子高高齢化などの課題に加え、新型コロナウイルス感染症対策を契機としたニューノーマルへの対応、グリーン社会や共生社会の実現、SDGsを踏まえた取組の推進等、行政を取り巻く環境は日々変化している。

このような状況を踏まえ、総合計画の将来像の実現に向け、成果を意識した行政への転換及び市民に対する説明責任の向上を目的に重点事業評価を実施する。

### 2 制度設計

#### (1) 重点事業評価の対象とする事業

##### ① 決算審査「所管部長説明事項に関する調」に記載予定事業

(各所属が当年度に執行する事務事業の中から、事業成果や懸案事項等を踏まえ、重点事業と判断した事業(例 実施計画対象事業 等))

##### ② その他、行政総務課が指定した事業

#### (2) 評価指標

活動指標(アウトプット)及び成果指標(アウトカム)により評価する。

※定量評価を原則とし、数値化が難しい場合には定性評価を行う。

※ハード事業等、中間年度において成果指標による評価が難しい場合は、活動指標で評価し、事業終了後に成果指標にて評価を行う。

#### (3) 評価シート作成・評価時期

評価シート作成(毎年度5月)

中間評価(〃9月)

事後評価(〃2月)

最終評価(翌年度6月)決算数字を反映

※方針管理シート作成等スケジュールに合わせ、同時に評価を受ける

#### (4) 評価者

1次評価 担当課長

2次評価 担当部長

意見聴取 島田市行政改革推進委員会にて報告

#### (5) 評価シート

別紙のとおり

※以前議会より参考資料として提出された、可児市の重点評価シートを基に、当市の決算審査「所管部長説明事項に関する調」シート内容を合算して作成。

### 3 事務事業評価シートの活用について

- (1) 予算・決算特別委員会等議会説明用  
予算・決算特別委員会等参考資料。
- (2) 決算審査資料  
決算審査における「所管部長説明事項に関する調」として活用予定。
- (3) 事業の廃止及び継続の根拠資料  
事業の廃止及び継続等の検討資料として活用。
- (4) 予算要求時根拠資料  
当初予算要求における要求額根拠資料として活用。
- (5) 市民等に対する行政活動(評価結果)公表資料  
市民等に対する説明責任を果たすため、評価結果については毎年市ホームページにて公表する。

### 4 重点事業評価導入検討経過及び今後のスケジュール

下記のとおり、総合計画後期基本計画の開始に合わせ令和4年度実施事業からとする。

令和2年6～9月	行政評価定例会を開催(計5回)
10月20日	R2第5回行政経営会議 行政評価の導入に係る方向性(案)について
令和3年1～2月	行政評価定例会を開催(計5回)
2月19日	予算・決算特別委員会全体会で状況を説明
3月2日	監査委員事務局に説明
3月23日	R2第10回行政経営会議 行政評価の導入に係る検討の経過報告及び当面の予定について
令和3年4～8月	行政評価定例会を開催(計4回)
8月23日	R3第5回行政経営会議 制度設計及び導入時期の見直し内容説明及び当面の予定について
9月8日	議会との調整(正副議長に概要説明)
10月6日	監査委員事務局に制度修正案説明
12月16日	市長に最終案説明
令和4年2月	島田市行政改革推進委員会に報告
令和4年2月	議会に説明(全員協議会)
令和4年4月	職員にむけての導入説明会
令和4年5月	令和4年度重点事業評価シート作成(重要事業の選定及び目標値設定)
令和4年6月	部長ヒアリング(方針管理面談時、併せて実施)
令和4年9月	中間評価(進捗状況管理)
令和5年2月	事後評価(方針管理面談時、併せて実施)
令和5年6月	最終評価(決算数字を反映)
令和5年8月	島田市行政改革推進委員会に報告
令和5年8月	市ホームページに公表

## 令和4年度 重点事業評価シート

事業名							区分	
所属	部 課						会計	
決算額					款項目		報告書頁	
総合計画	施策の柱		#N/A					
	施策と内容		#N/A					
事業の目的							対象者 (ターゲット)	
前年度の課題に対する取組								
実施結果								
指標名		当年度の目標値に対する達成状況	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
			実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値
活動指標								
成果指標								
年度		総事業費（見込）	R3年度決算		R4年度決算		R5年度予算	
事業費（千円）		0	0		0		0	
節別内訳								
	その他							
	国庫支出金							
	県支出金							
財源内訳	地方債							
	その他							
	一般財源	0	0		0		0	
課題								
改善点								

重点方針	地域・経済の元気づくり	所属	市長公室	広報課				
総合計画	3 - 3 - 2	総合戦略	2 2	(1) - ① (2) ②				
事業名	広報一般経費	決算額	39,615,429 円					
		款項目	2	1	2	決算実績報告書頁 38		
対象年度に目指す事業の成果	通常業務に加えて新しい情報発信を展開し、特に若い世代をターゲットにした発信を強化しながら、さらに世代やエリアを拡大して可児市の魅力や情報を伝える。							
実施結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国山城サミットや大河ドラマの放映を活用したプロモーション活動のため、可児市を広く周知することを目的とした職員研修を行いました(新任係長、3年目職員、入庁前研修)。また、これらの視点を意識した広報紙の作成、各メディアでの番組づくりを行いました。</li> <li>・若い世代をターゲットに、SNS(インスタグラム、フェイスブック、ツイッター)の配信やYouTubeなどで動画配信を行いました。また、さまざまな機会を広報大使による発信を行いました。</li> <li>・スマートフォンやタブレットで広報紙が読めるアプリとして、マチイロに加え新たに県内の電子書籍ポータルサイト(Gifu ebooks)での配信を開始しました。</li> <li>・全国山城サミットや明智光秀生誕地を活用し、地域資源を広く周知するために、タウン誌を利用した広報活動を行いました。</li> <li>・かにすき若者プロジェクトを活用した高校生デザインのイラストをフリー素材として公開し、明智光秀生誕地を市内を中心にPRしました。</li> <li>・定住移住のウェブサイトを適切に管理しました。また、名古屋で開催された「いい街発見 地方の暮らしフェア」、大阪で開催された「三県合同大阪移住フェア」イベントで移住相談や資料配布等を行いました。</li> <li>・大河ドラマに関連して明智光秀生誕地・可児をPRするとともに「麒麟がくるぎふ可児大河ドラマ館」の特設サイトを開設して情報発信を行いました。</li> </ul>							
前年度の課題への取り組み・進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河ドラマ「麒麟がくる」の放送に合わせ、タウン誌等を活用して適切なタイミングで情報発信し、明智光秀生誕地・可児をPRしました。</li> <li>・可児市を紹介する1分動画を作成し、ぎふチャンで放送し市内外へPRしました。</li> <li>・「住みごこち一番・可児」に関するプロモーションビデオを作成し、山城サミット、FCぎふスタジアム等で放映するなど、可児市の魅力をPRしました。</li> </ul>							
指標名	対象年度の目標値に対する達成状況	H29年度 目標値 結果	H30年度 目標値 結果	R1年度 目標値 結果	R2年度 目標値 結果	R3年度 目標値 結果	R4年度 目標値 結果	
指標①	可児市にずっと住みたい人の割合	B 67.0%	68.0%	70.0%				
指標②		63.5%	60.1%	58.1%				
指標								
年度	総事業費(見込)	H30年度決算		R1年度決算		R2年度予算		
事業費(千円)	—	32,382		39,615		39,731		
財源内訳	国支出金	—		—		—		
	県支出金	—		526		3,518		
	地方債	—		—		—		
	その他	—		4,208		4,131		
一般財源	—		27,648		31,966		35,213	
結果分析(問題点)	・分かりやすく、かつ可児市の魅力を効果的にPRできる情報発信が求められる。							
結果分析(改善点)	・可児市の魅力を効果的に発信できるよう、引き続き各所属と情報共有・連携に努めていきます。							
今後の取り組み	・可児市の魅力の発信に重点を置き、住みやすさや地域資源など、ターゲットを明確にした情報発信に努めます。							

## 重要案件資料

## 【市長戦略部・広報課】

## 事業名：シティプロモーション推進事業

区分	内 容
予算科目	2 款 1 項 3 目（広報費）
決算額	7,507,734 円
事業区分	継続事業
事業概要	厳しい地域間競争の中で、地域内外におけるイメージアップや他の自治体との差別化を図るため、「島田市緑茶化計画」を旗印としたシティプロモーション推進や島田市ふるさと大使の活用により、市の魅力を市内外へ効果的に発信する。
事業実績	<p>【島田市緑茶化計画協働促進事業】 契約額：2,993,100 円 委託期間：R1.7.26～R2.3.31</p> <p>【島田市緑茶化計画商品開発活用推進事業】 契約額：2,200,000 円 委託期間：R1.6.14～R2.3.9</p> <p>【広告事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>島田市緑茶化計画「3種の緑茶スイーツ&amp;7種の高級ティーバッグ」広告 契約額：330,000 円 期間：R2.3.9～R2.3.16</li> <li>島田市緑茶計画動画 Web 広告 契約額：485,000 円 掲載期間：R2.3.18～R2.3.31</li> </ul>
事業成果	<p>①事業成果</p> <p>【島田市緑茶化計画協働促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「島田 DE いっぷく」プロジェクト提供飲食店の拡充：15 店舗（3 店舗増）</li> <li>「島田 DE いっぷく Ver.2」リーフレットデザイン制作：5,000 部</li> <li>「島田の緑茶観光」体験プロジェクトの開発：6 種類</li> <li>「島田の緑茶観光」パンフレットデザイン制作：5,000 部</li> <li>市内団体・高校でワークショップを開催することにより、島田市緑茶化計画に対する意識づくりを図った。</li> </ul> <p>【島田市緑茶化計画商品開発活用推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ブランド商品の開発：「3種の緑茶スイーツ&amp;7種の高級ティーバッグ」</li> <li>開発商品のリーフレット制作：3,000 部</li> </ul> <p>【広告事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委託業者（トコナツ歩兵团）による島田市緑茶化計画「3種の緑茶スイーツ&amp;7種の高級ティーバッグ」のリリース</li> <li>（株）SBS プロモーションによる YouTube 及び Twitter 広告：視聴回数 123,796 回</li> </ul> <p>②効果</p> <p>市民活動やパブリシティなどにより、まちへの愛着の醸成や認知度の向上、関連する商店や蓬莱橋 897.4 茶屋などの PR に寄与。</p>
懸案事項	市民に対して島田市緑茶化計画の認知度を高め、1人ひとりが広告塔となってもらえるよう更に市民参加型のシティプロモーションを推進する。 また、Web を活用した市内外への効果的な PR 方法を強化していく必要がある。
解決方策	市民・市内企業との商品などの協働開発により、市への愛着度を醸成させる。デジタルトランスフォーメーション推進課と連携し、プロモーション映像を利活用した情報発信を推進する。